

## 土屋絵葉 《紙面インタビュー》

### Q、ピアノを始めたいきっかけは？

A、母が声楽家であることもあり、幼い頃からクラシックやピアノが身近な存在でした。ピアノが嫌いなときもありましたが、向き合おうと決心してからはピアノが何よりも大切な存在になりました。

### Q、多摩フレッシュ音楽コンサート 2013 に応募されたきっかけは？

A、憧れの人何人も以前に多摩フレッシュ音楽コンサートに出演していて、聴きに行ってから、いつか私もこのコンサートに出たいなとずっと思っていました。

実は、締切りの前日に今回のコンサートの募集要項を発見しました。ギリギリだったこともあり出場するか迷っていたのですが、その夜友人と電話して相談したら「なんで出ない理由があるの。頑張ってみなよ。」と後押しされました。翌日の締切日に立川市の事務局に直接足を運び、書類を提出しました。友人の一言がなければ今回の第一位は頂けていなかったと思うので、友人にはとても感謝しています。

### Q、良く聴く CD はありますか？

A、CD より youtube で聴くことが多いですが、劇的な表現溢れるプロコフィエフのピアノ協奏曲 第2番を聴くのが好きです。好きな演奏家はキーシン、ユジャ・ワン、小林愛実ちゃんです。

### Q、気分転換には何をされていますか？

A、特に気分転換というものは普段あまりしないのですが、通勤などで自転車を毎日 20km 走っているの、サイクリングはひとつのストレス解消法と言えるかもしれません (笑)。サイクリングしながら空の色彩を見るのが好きです。真っ青な空と、夕焼けのグラデーションが好きです。

### Q、将来の夢やどんな演奏家を目指したいですか？

A、大きなホールで拍手が鳴り止まないくらい、聴衆の心を掴める演奏家になりたいです。作曲家と言葉をかわしながら、まだまだこれから新しい音楽の世界を見出していきたいです。

そしてオーケストラと、故郷フランスの作曲家であるラヴェルやサン＝サーンスの協奏曲を弾きたいです。

### Q、当日、聴きに来られるお客様に一言お願いします。

A、夜想曲、ワルトシュタイン、オーベルマンの谷、戦争ソナタ…どれも心を込めて演奏できる曲を選びました。様々な時代、国、スタイルの曲なので最後までお楽しみ頂けたらと思います。皆様の心を温かくさせるような幸せになれる演奏を目指して頑張ります！

リサイタルの場を与えて下さったすべての皆様に、感謝の気持ちを込めて…。

ありがとうございました。